



Digital Garage

2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社デジタルガレージ

コード番号 4819 URL https://www.garage.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役 兼 社長執行役員グループCEO (氏名) 林 郁

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部共同本部長 (氏名) 土居 展陽 TEL 03-6367-1111

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	22,333	△57.8	△11,858	—	△8,123	—	△7,962	—	△8,550	—
2022年3月期第3四半期	52,888	84.2	33,679	259.8	22,640	271.3	22,801	262.3	22,210	191.5

	基本的1株 当たり四半期利益	希薄化後1株 当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△168.93	△168.93
2022年3月期第3四半期	494.49	447.15

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	234,358	83,219	81,149	34.6
2022年3月期	231,607	97,217	95,738	41.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2023年3月期における期末配当予想は未定であります。

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

インキュベーションテクノロジー事業にて展開する国内外の未公開企業等への投資・育成分野において、当社グループが保有する有価証券の期末時点における公正価値を合理的に見積もることが困難であるため、連結業績予想の開示は行っておりません。なお、詳細につきましては、(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	47,603,900株	2022年3月期	47,482,800株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,509,426株	2022年3月期	390,960株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	47,127,770株	2022年3月期3Q	46,110,155株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社を取り巻く市場環境は、当社グループが事業展開する電子決済市場、インターネット広告市場ともに今後も継続的な成長が見込まれております。

電子決済市場においては、物販やデジタルコンテンツを中心に市場規模が拡大し、2021年の消費者向け電子商取引（BtoC-EC）は前年比7.4%増の20兆6,950億円となりました（注1）。また、2018年4月に内閣府主導のもと、国内のキャッシュレス決済比率を2017年の21.3%（注2）から2025年に40%とする目標が設定されており（注3）、2021年には32.5%（注2）まで到達するなど、国内のキャッシュレス化が順調に進捗している背景から、今後も継続的な市場の成長が見込まれます。

また、インターネット広告市場は、2021年にインターネット広告費がマスコミ四媒体広告費を初めて上回り、前年比21.4%増の2兆7,052億円（注4）となるなど、社会のデジタル化加速が追い風となり引き続き市場の拡大が期待されます。

出所 （注1）経済産業省「令和3年度 電子商取引に関する市場調査 報告書（2022年8月）」

（注2）一般社団法人キャッシュレス推進協議会「キャッシュレス・ロードマップ2022（2022年6月）」

（注3）経済産業省「キャッシュレス・ビジョン（2018年4月）」

（注4）(株)電通「2021年日本の広告費」

（単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
収 益	52,888	22,333	△30,555	△57.8
税引前四半期利益（△損失）	33,679	△11,858	△45,537	—
四半期利益（△損失）	22,640	△8,123	△30,763	—
親会社の所有者に帰属する 四半期利益（△損失）	22,801	△7,962	△30,762	—
四半期包括利益	22,210	△8,550	△30,760	—

当第3四半期連結累計期間の収益は22,333百万円（前年同期比30,555百万円減、同57.8%減）、税引前四半期損失は11,858百万円（前年同期は33,679百万円の利益）、親会社の所有者に帰属する四半期損失は7,962百万円（前年同期は22,801百万円の利益）、四半期包括利益は△8,550百万円（前年同期比30,760百万円減）となりました。

当第3四半期連結累計期間は、Blockstream Corporation Inc.の公正価値測定による評価額が大幅に減少したことにより、インキュベーションテクノロジー事業の「営業投資有価証券に関する損失」及び事業セグメントに属していない全社共通の「金融費用」として評価損を計上し、減収減益となりました。一方で、フィナンシャルテクノロジー事業では、決済代行事業において非対面領域・対面領域ともに決済取扱高が増加したほか、マーケティングテクノロジー事業では、主力のデジタル広告において金融領域のマーケティングが牽引し広告取扱高が前年同期を上回りました。ロングタームインキュベーション事業では、経済社会活動の正常化に伴い外食需要が着実に回復に向かったこと等を受け、(株)カカコムの特分法による投資利益が前年同期比で増加したことに加えて、関係会社株式を売却したことによる売却益を計上しました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、不動産業界のDX化を推進する「Musubell事業」をマーケティングテクノロジー事業からロングタームインキュベーション事業へセグメント変更をしております。前第3四半期連結累計期間は、当セグメント変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。また、当セグメント変更による影響額は軽微であります。

(単位：百万円)

		前第3四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	前年同期比	
				増減額	増減率 (%)
フィナンシャル テクノロジー事業	収 益	8,005	8,774	769	9.6
	税引前四半期利益	3,492	3,947	455	13.0
マーケティング テクノロジー事業	収 益	9,401	8,728	△673	△7.2
	税引前四半期利益	588	728	139	23.7
インキュベーション テクノロジー事業	収 益	21,237	△2,237	△23,474	—
	税引前四半期利益	20,116	△9,743	△29,858	—
ロングタームインキ ュベーション事業	収 益	3,434	6,575	3,142	91.5
	税引前四半期利益	1,891	4,837	2,946	155.8
調 整 額	収 益	10,811	492	△10,319	△95.4
	税引前四半期利益	7,591	△11,628	△19,219	—
合 計	収 益	52,888	22,333	△30,555	△57.8
	税引前四半期利益	33,679	△11,858	△45,537	—

【フィナンシャルテクノロジー事業】

フィナンシャルテクノロジー事業では、Eコマース（EC）をはじめとするBtoCの商取引に必要な不可欠なクレジットカード決済やコンビニ決済等の電子決済ソリューション及び決済周辺サービス等の提供を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、非対面領域において、電子商取引市場の成長率を上回るペースで取扱高が増加したほか、対面領域においてはアライアンスパートナーとの戦略提携が奏功し、当社が決済を取り扱う拠点数が着実に増加したこと等から、決済取扱高は前年同期比約19%増の3兆8,926億円、決済取扱件数は同約22%増の7.2億件となりました。

これらの結果、収益は8,774百万円（前年同期比769百万円増、同9.6%増）、税引前四半期利益は3,947百万円（前年同期比455百万円増、同13.0%増）となりました。

【マーケティングテクノロジー事業】

マーケティングテクノロジー事業では、総合的なデジタルマーケティングや様々なデータを活用したデータマーケティングビジネス等を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、不動産広告領域における取扱高及びスマートフォン向けアプリケーション等におけるデジタル広告の取扱高が前年同期を下回ったことにより減収となったものの、当社の注力分野であるクレジットカード等のマーケティングを手掛ける金融領域において取扱高が堅調に推移しました。

これらの結果、収益は8,728百万円（前年同期比673百万円減、同7.2%減）、税引前四半期利益は728百万円（前年同期比139百万円増、同23.7%増）となりました。

【インキュベーションテクノロジー事業】

インキュベーションテクノロジー事業では、国内外のスタートアップ企業等への投資及び当社グループ内の事業との連携による投資先の育成等を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、Blockstream Corporation Inc.における公正価値測定による評価額が大幅に減少したことにより評価損を計上した結果、収益は△2,237百万円（前年同期比23,474百万円減）、税引前四半期損失は9,743百万円（前年同期は20,116百万円の利益）、当第3四半期連結会計期間末における営業投資有価証券の残高は、72,193百万円（前連結会計年度末比5,756百万円減）となりました。

〔ロングタームインキュベーション事業〕

ロングタームインキュベーション事業では、当社グループがこれまで培ってきた投資育成や事業開発のノウハウを活かし、中長期的かつ継続的な事業利益の創出に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、経済社会活動の正常化が進むなかで外食需要が回復に向かったこと等により、持分法適用会社である(株)カカクムの業績が前年同期を上回りました。また、関係会社株式の売却に伴い売却益を計上しました。

これらの結果、収益は6,575百万円（前年同期比3,142百万円増、同91.5%増）、税引前四半期利益は4,837百万円（前年同期比2,946百万円増、同155.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2022年12月31日)	前連結会計年度末比	
			増減額	増減率 (%)
流動資産	147,642	163,035	15,393	10.4
非流動資産	83,965	71,323	△12,642	△15.1
資産合計	231,607	234,358	2,751	1.2
流動負債	59,242	109,517	50,276	84.9
非流動負債	75,149	41,622	△33,526	△44.6
負債合計	134,390	151,140	16,749	12.5
資本合計	97,217	83,219	△13,998	△14.4

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,751百万円増加し、234,358百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券等のその他の金融資産（非流動資産）が10,215百万円、営業投資有価証券が5,756百万円、決済事業等に係る営業債権及びその他の債権が4,700百万円減少した一方、現金及び現金同等物が25,490百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて16,749百万円増加し、151,140百万円となりました。この主な要因は、金融資産の公正価値の減少等により繰延税金負債が6,314百万円減少した一方、決済事業等に係る営業債務及びその他の債務が18,603百万円、社債及び借入金（流動負債及び非流動負債）が5,980百万円増加したことによるものであります。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べて13,998百万円減少し、83,219百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が親会社の所有者に帰属する四半期損失の計上により7,962百万円、配当金により1,648百万円減少したほか、自己株式が取得により4,884百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

インキュベーションテクノロジー事業にて展開する国内外の未公開企業等への投資・育成分野において、当社グループが保有する有価証券の期末時点における公正価値を合理的に見積もることが困難であるため、連結業績予想の開示は行っておりません。

また、新型コロナウイルス感染症のリスクについては、当社業績への影響は限定的ですが、今後新型コロナウイルス感染症の経済社会に対する影響が拡大した場合には、当社業績に影響を与える可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	43,415	68,906
営業債権及びその他の債権	24,462	19,762
棚卸資産	347	401
営業投資有価証券	77,950	72,193
その他の金融資産	277	271
未収法人所得税等	88	521
その他の流動資産	1,103	981
流動資産合計	147,642	163,035
非流動資産		
有形固定資産	18,423	17,178
のれん	6,804	6,801
無形資産	4,194	4,477
投資不動産	3,171	3,393
持分法で会計処理されている投資	27,808	26,098
その他の金融資産	23,317	13,102
繰延税金資産	17	16
その他の非流動資産	231	257
非流動資産合計	83,965	71,323
資産合計	231,607	234,358

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	9,223	41,258
営業債務及びその他の債務	43,900	62,503
その他の金融負債	1,666	1,673
未払法人所得税等	394	598
その他の流動負債	4,059	3,486
流動負債合計	59,242	109,517
非流動負債		
社債及び借入金	40,710	14,654
その他の金融負債	10,683	9,528
退職給付に係る負債	480	475
引当金	480	476
繰延税金負債	22,001	15,687
その他の非流動負債	796	803
非流動負債合計	75,149	41,622
負債合計	134,390	151,140
資本		
資本金	7,692	7,825
資本剰余金	6,147	6,230
自己株式	△1,409	△6,177
その他の資本の構成要素	2,273	1,448
利益剰余金	81,035	71,823
親会社の所有者に帰属する持分合計	95,738	81,149
非支配持分	1,479	2,070
資本合計	97,217	83,219
負債及び資本合計	231,607	234,358

(2) 要約四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
収益		
リカーリング型事業から生じる収益	18,298	18,508
営業投資有価証券に関する収益	18,106	—
その他の収益	752	3,291
金融収益	11,914	391
持分法による投資利益	3,819	143
収益計	52,888	22,333
費用		
売上原価	7,811	7,539
営業投資有価証券に関する損失	—	6,009
販売費及び一般管理費	10,830	11,861
その他の費用	287	263
金融費用	281	8,520
費用計	19,209	34,191
税引前四半期利益 (△損失)	33,679	△11,858
法人所得税費用	11,038	△3,735
四半期利益 (△損失)	22,640	△8,123
四半期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	22,801	△7,962
非支配持分	△161	△161
1株当たり四半期利益 (△損失) (円)		
基本的1株当たり四半期利益 (△損失)	494.49	△168.93
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失)	447.15	△168.93

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
収益		
リカーリング型事業から生じる収益	6,226	6,362
営業投資有価証券に関する収益	4,378	△233
その他の収益	202	2,955
金融収益	513	△650
持分法による投資利益	1,461	△665
収益計	12,779	7,769
費用		
売上原価	2,662	2,421
営業投資有価証券に関する損失	—	6,009
販売費及び一般管理費	3,696	3,992
その他の費用	99	96
金融費用	69	468
費用計	6,526	12,986
税引前四半期利益 (△損失)	6,253	△5,216
法人所得税費用	2,022	△1,533
四半期利益 (△損失)	4,232	△3,684
四半期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	4,305	△3,611
非支配持分	△74	△73
1株当たり四半期利益 (△損失) (円)		
基本的1株当たり四半期利益 (△損失)	93.33	△76.80
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失)	84.62	△76.80

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益 (△損失)	22,640	△8,123
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産 の公正価値の純変動	△564	△885
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△14	17
純損益に振り替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	147	441
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△0	0
税引後その他の包括利益	△431	△427
四半期包括利益	22,210	△8,550
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	22,369	△8,389
非支配持分	△160	△161

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益 (△損失)	4,232	△3,684
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産 の公正価値の純変動	△157	△57
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△4	△5
純損益に振り替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	126	△497
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△0	0
税引後その他の包括利益	△35	△559
四半期包括利益	4,196	△4,243
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	4,269	△4,164
非支配持分	△73	△79

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			合計
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	確定給付制度の再測定	
2021年4月1日 残高	7,637	4,566	△4,915	853	1,217	△7	2,062
四半期利益(△損失)							—
その他の包括利益				△577	146		△432
四半期包括利益	—	—	—	△577	146	—	△432
新株の発行	44	44					—
支配継続子会社に対する持分変動		170					—
連結範囲の変動							—
配当金							—
株式報酬取引		188	84				—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△175			△175
その他		△63					—
所有者との取引額等合計	44	339	84	△175	—	—	△175
2021年12月31日 残高	7,681	4,905	△4,831	100	1,362	△7	1,455

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
2021年4月1日 残高	52,785	62,134	947	63,082
四半期利益(△損失)	22,801	22,801	△161	22,640
その他の包括利益		△432	1	△431
四半期包括利益	22,801	22,369	△160	22,210
新株の発行		87		87
支配継続子会社に対する持分変動		170	569	739
連結範囲の変動		—	67	67
配当金	△1,475	△1,475		△1,475
株式報酬取引		272		272
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	175	—		—
その他	25	△38		△38
所有者との取引額等合計	△1,274	△983	636	△347
2021年12月31日 残高	74,312	83,521	1,423	84,944

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			合計
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	確定給付制度の再測定	
2022年4月1日 残高	7,692	6,147	△1,409	613	1,660	0	2,273
四半期利益(△損失)							—
その他の包括利益				△868	441		△428
四半期包括利益	—	—	—	△868	441	—	△428
新株の発行	133	133					—
支配継続子会社に対する持分変動		13					—
配当金							—
株式報酬取引		△37	116				—
自己株式の取得		△12	△4,884				—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△397			△397
その他		△14					—
所有者との取引額等合計	133	83	△4,767	△397	—	—	△397
2022年12月31日 残高	7,825	6,230	△6,177	△653	2,101	0	1,448

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
2022年4月1日 残高	81,035	95,738	1,479	97,217
四半期利益(△損失)	△7,962	△7,962	△161	△8,123
その他の包括利益		△428	0	△427
四半期包括利益	△7,962	△8,389	△161	△8,550
新株の発行		265		265
支配継続子会社に対する持分変動		13	752	765
配当金	△1,648	△1,648		△1,648
株式報酬取引		79		79
自己株式の取得		△4,896		△4,896
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	397	—		—
その他		△14		△14
所有者との取引額等合計	△1,251	△6,200	752	△5,448
2022年12月31日 残高	71,823	81,149	2,070	83,219

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△は損失)	33,679	△11,858
減価償却費及び償却費	2,689	2,716
受取利息及び受取配当金	△11	△53
支払利息及び社債利息	179	202
持分法による投資損益 (△は益)	△3,819	△143
投資有価証券に関する損益 (△は益)	△11,666	8,308
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△2,720
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	6,489	4,752
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△19,427	6,119
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4	△54
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	9,772	18,299
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△899	△167
その他	160	△395
小計	17,143	25,004
利息及び配当金の受取額	1,453	1,501
利息の支払額	△48	△76
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,464	△1,767
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,082	24,661
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,467	△300
無形資産の取得による支出	△982	△1,221
投資有価証券の取得による支出	△15	△3
投資有価証券の売却による収入	340	846
子会社の取得による支出	△301	—
持分法で会計処理されている投資の取得による 支出	△550	△538
持分法で会計処理されている投資の売却による 収入	—	3,337
その他	114	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,861	2,148
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,680	6,560
長期借入れによる収入	10,100	1,100
長期借入金の返済による支出	△9,864	△1,921
リース負債の返済による支出	△1,307	△1,300
非支配持分からの払込による収入	806	765
自己株式の取得による支出	—	△4,896
配当金の支払額	△1,474	△1,647
その他	△86	16
財務活動によるキャッシュ・フロー	856	△1,323
現金及び現金同等物に係る換算差額	66	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	14,144	25,490
現金及び現金同等物の期首残高	37,989	43,415
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,132	68,906

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下のとおりであります。

なお、当社グループの報告セグメントの利益(△損失)は、税引前四半期利益(△損失)をベースとしており、セグメント間の収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	連結
	フィナンシャルテクノロジー事業	マーケティングテクノロジー事業	インキュベーションテクノロジー事業	ロングタームインキュベーション事業			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
収益							
外部収益							
リカーリング型事業から生じる収益	7,846	9,324	—	1,129	18,298	—	18,298
営業投資有価証券に関する収益	—	—	18,106	—	18,106	—	18,106
その他の収益	1	49	345	162	557	195	752
金融収益	△0	35	1,264	△1	1,297	10,617	11,914
持分法による投資利益	158	△6	1,523	2,144	3,819	—	3,819
外部収益計	8,005	9,401	21,237	3,434	42,077	10,811	52,888
セグメント間収益	54	130	112	1	297	△297	—
収益計	8,058	9,531	21,350	3,434	42,373	10,514	52,888
セグメント利益	3,492	588	20,116	1,891	26,087	7,591	33,679

(注) 1. 報告セグメントの利益の金額の調整額7,591百万円には、セグメント間取引消去△3,467百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益14,834百万円及び全社費用△3,775百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。

3. セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益(△損失)と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	連結
	フィナンシャルテクノロジー事業	マーケティングテクノロジー事業	インキュベーションテクノロジー事業	ロングタームインキュベーション事業			
	百万円	百万円	百万円	百万円			
収益							
外部収益							
リカーリング型事業から生じる収益	8,695	8,628	—	1,185	18,508	—	18,508
その他の収益	1	70	293	2,728	3,092	199	3,291
金融収益	△22	2	119	△1	98	293	391
持分法による投資利益	100	28	△2,649	2,664	143	—	143
外部収益計	8,774	8,728	△2,237	6,575	21,840	492	22,333
セグメント間収益	78	306	11	1	397	△397	—
収益計	8,852	9,034	△2,226	6,577	22,237	95	22,333
セグメント利益(△損失)	3,947	728	△9,743	4,837	△230	△11,628	△11,858

- (注) 1. 報告セグメントの利益(△損失)の金額の調整額△11,628百万円には、セグメント間取引消去△5,210百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益6,513百万円及び全社費用△12,931百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び金融費用であります。
2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。
3. セグメント利益(△損失)は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益(△損失)と調整を行っております。
4. インキュベーションテクノロジー事業におけるセグメント利益(△損失)には、純額で計上した営業投資有価証券に関する損失6,009百万円が含まれております。

前第3四半期連結会計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	連結
	フィナンシャ ルテクノロジー 事業	マーケティ ングテクノロジー 事業	インキュベ ーションテク ノロジー事業	ロングター ムインキュベ ーション事業			
	百万円	百万円	百万円	百万円			
収益							
外部収益							
リカーリング型事業 から生じる収益	2,752	3,052	—	421	6,226	—	6,226
営業投資有価証券に 関する収益	—	—	4,378	—	4,378	—	4,378
その他の収益	1	4	135	2	141	61	202
金融収益	△1	29	83	△1	110	403	513
持分法による投資 利益	62	2	413	984	1,461	—	1,461
外部収益計	2,814	3,087	5,008	1,406	12,315	465	12,779
セグメント間収益	19	60	7	0	86	△86	—
収益計	2,833	3,146	5,016	1,406	12,401	378	12,779
セグメント利益	1,264	158	4,593	813	6,828	△575	6,253

- (注) 1. 報告セグメントの利益の金額の調整額△575百万円には、セグメント間取引消去△850百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益1,533百万円及び全社費用△1,258百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。
3. セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益(△損失)と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	連結
	フィナンシャルテクノロジー事業	マーケティングテクノロジー事業	インキュベーションテクノロジー事業	ロングタームインキュベーション事業			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
収益							
外部収益							
リカーリング型事業から生じる収益	3,106	2,870	—	386	6,362	—	6,362
営業投資有価証券に関する収益	—	—	△233	—	△233	—	△233
その他の収益	0	68	93	2,723	2,885	71	2,955
金融収益	12	△2	△327	0	△317	△334	△650
持分法による投資利益	36	17	△1,759	1,040	△665	—	△665
外部収益計	3,155	2,953	△2,226	4,149	8,032	△263	7,769
セグメント間収益	35	72	4	1	111	△111	—
収益計	3,190	3,025	△2,222	4,150	8,144	△375	7,769
セグメント利益(△損失)	1,517	355	△8,780	3,545	△3,363	△1,854	△5,216

- (注) 1. 報告セグメントの利益(△損失)の金額の調整額△1,854百万円には、セグメント間取引消去△2,353百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益2,383百万円及び全社費用△1,883百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。
3. セグメント利益(△損失)は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益(△損失)と調整を行っております。
4. インキュベーションテクノロジー事業におけるセグメント利益(△損失)には、営業投資有価証券に関する損失6,009百万円が含まれております。